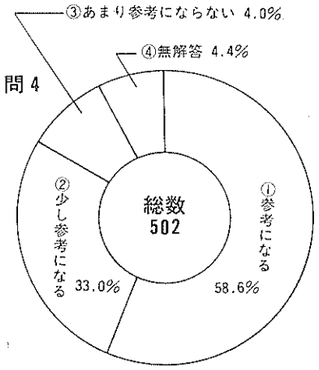
●●●広報アンケート調査から●●●　②

広報は参考になる59%

くわしく読む35%、ざっと読む57%

問4　「広報なんこく」は、市政や市の動きを知る上に―。

①参考になる　58・6
②少し参考になる　33・0
③あまり参考にならない　4・0
④無回答　4・4



問5　あなたのご家族は「広報なんこく」を―。

①すみずみまでくわしく読む　34・3
②ざっと読む　56・8
③見出しだけを見る　3・2
④ほとんど読まない　2・2
⑤無回答　3・6

A・市政を知る上で、約六〇％の人が参考になると答えてくれた。少し参考になる三三・〇％を加えると、まずまずの数字だと思う。

B・あまり参考にならない四・〇％が気になるが、記事の内容にもう少し「つっこみ」が足りないからかな。

C・すみずみまでくわしく読む人が全体の約三五％で、広報なんこくをかなり関心を持って読んでくれている人がいる。うれしいことだ。

D・参考になる五八・六％と少し参考になる三三・〇％を合わせると九一・六％となり、すみずみまで読む三四・三％とざっと読む五六・八％を合わせると、九一・一％だ。かなりの人が、少なからず広報に関心を持っているといえ、九〇％以上の人が一応目を通している。

E・見出しだけを見る人が三・二％とわずかにいるが、見出しはその記事のカンバンともいえるもので、記事の内容がだいたいわかるものだから、編集者も読者を引きつける簡潔な見出しに気をつけなくてはいけない。

F・本市は「議会広報」が発行されていないので、議会関係は広報で取り上げているが、予算関係など難しい用語が多く出てくるので、分かりやすくすることに心がけなくては……。

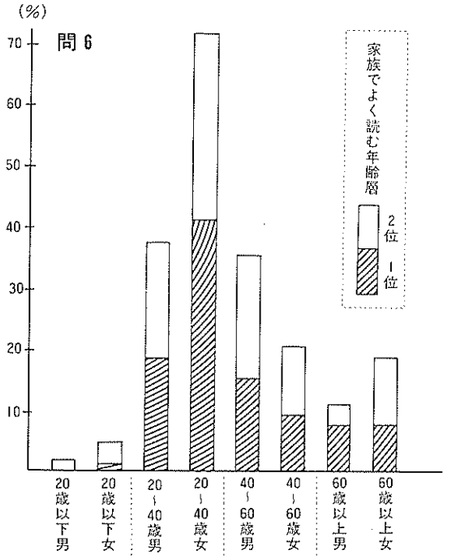
このアンケート調査は、市民に役立つ広報紙をめざすために行ったもので、前号（二月一日号）から掲載しています。

多い女性の読者

若者にはなじみ薄

問6　あなたのご家族で「広報なんこく」をよく読む人はだれですか。（　）の中に順番をつけてください。

①二十歳以下の男性
一位と答えた人　0・3
二位　〃　1・2
②二十歳以下の女性
一位と答えた人　0・8
二位　〃　3・5
③二十～四十歳の男性
一位と答えた人　17・9
二位　〃　19・5
④二十～四十歳の女性
一位と答えた人　41・4
二位　〃　30・1
⑤四十～六十歳の男性
一位と答えた人　15・3
二位　〃　19・9
⑥四十～六十歳の女性
一位と答えた人　9・0
二位　〃　11・3
⑦六十歳以上の男性
一位と答えた人　7・5
二位　〃　4・3
⑧六十歳以上の女性
一位と答えた人　7・8
二位　〃　10・2



A・広報によく目を通しているのは、やはり女性が多い。特に二十～四十歳代の女性（主婦）がよく読んでいることがわかる。

B・広報は行政の動き、市内の話題やお知らせ記事が主だが、なかでも各種検診やゴミ収集の日程表は、家庭の主婦と密接だからでは…。

C・広報は「女性とお年寄りに読まれる」とよく言われていたが、そのとおりだった。

D・男性では、二十～四十歳代と四十～六十歳代がほぼ同数だが、やや低いのが残念だ。特に働き盛りの男性には、行政に関心を持ってもらいたい。そのためにも、この年齢層の読者を増やす手だてはないものか。

E・二十歳以下の年齢層に読者が少ないのは無理もないだろう。テレビ、ラジオ、雑誌類がおもしろいし、それに勉強も忙しい。ヤングには、なじみが薄い感じだ。

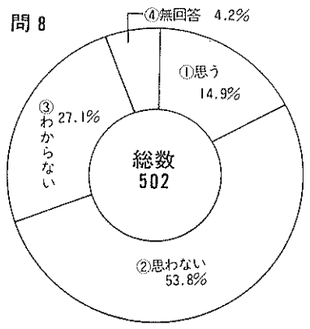
編集に参加したい15%

問7　「広報なんこく」に、あなたのご家族の写真や記事、名前などが載ったことがありますか。

①ある　18・9
②ない　75・9
③わからない　2・6
④無回答　2・6

問8　あなたは機会があったら「広報なんこく」の取材や編集に参画したいと思いますか。

①思う　14・9
②思わない　53・8
③わからない　27・1
④無回答　4・2



A・広報に写真や名前が載ったことがある（一八・九％）人（家族）が、予想以上に多いと思うが……。

B・これからも「市民参加」「市民登場」の記事を増やす努力が必要だ。

C・街に多く出かけ、市民の声も取材しないといけない。市民の建設的な意見も、どしどし欲しいが……。

D・広報の編集に参画したいと思う人（一四・九％）がかなりいる。この人たちの意見なども聞きたい。以前は広報モニター制度というのがあって、広報にいろいろな形で参加してもらったそうだ。

E・広報意見箱や広報情報委員制度で、市民からの意見や情報を得る試みをしたが、残念ながら成功しなかった。

「広聴活動」のむつかしさを痛感させられた、苦い経験がある。

F・とにかく、広聴という仕事は受け身でなく、広報マンが「足でかせぐ」ということに尽きると思う。